



ひらかわ

# 市議会だより

平成27年  
12月定例会

第41号

平成28年3月15日発行



冬の陽光きらめく平川

## 目次

◆平成27年第4回（12月）定例会（概要）	2
（審議した議案）	3～5
◆議決一覧表	6～7
◆市政に関する一般質問より（9議員）	8～13
◆青森県市議会議員研修会・子ども議会	14
◆議員研修視察報告（埼玉県）	15
◆議会の動き・編集室から	16

発行：青森県平川市議会 編集：平川市議会広報特別委員会

〒036-0104 青森県平川市柏木町藤山25番地6 TEL(0172)44-1111 FAX(0172)44-6988  
平川市ホームページ：<http://www.city.hirakawa.lg.jp/> メールアドレス：[gikai@city.hirakawa.lg.jp](mailto:gikai@city.hirakawa.lg.jp)

# 第4回 (12月) 定例会

平成27年第4回平川市議会定例会は、12月3日から11日までの9日間を会期として開催されました。

本定例会では、条例案3件、条例改正案4件、人事案件1件、指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間73件、平成27年度補正予算案5件、報告1件の計87件が上程されました。

これらを慎重に審議した結果、議案第133号から議案第138号までの6件は起立採決により原案可決となり、その他の議案についてはすべて原案同意、原案可決となりました。



## 【会期日程】

- 12月3日(木) 本会議
- 12月4日(金) (議案熟考のため休会)
- 12月5日(土) 休会
- 12月6日(日) 休会
- 12月7日(月) 常任委員会
- 12月8日(火) 本会議(一般質問1日目)
- 12月9日(水) 本会議(一般質問2日目)
- 12月10日(木) (議事整理のため休会)
- 12月11日(金) 本会議(最終日)

# 審議した議案

（※質疑内容は要約し、抜粋して掲載しています。）

## 人事案件

### ●教育委員会委員に

うちやま こうこ  
内山 浩子 氏を同意

平川市教育委員会委員 内山浩子氏の任期が平成28年2月24日をもって満了するため、再任について同意した。

## 条例案・条例改正案

### ●平川市税条例の一部を改正する条例案

（平成28年4月1日から施行）

地方税法等の一部改正に伴い、市税に係る徴収の猶予及び職権又は申請による財産の換価の猶予に関する規定を定め、並びにその他所要の改正を行うため。

#### 質 疑

**問** 条例改正に伴う今後の見通しについて。

**答** 条例化される以前から納税者の相談、事情に対応しており、条例改正後もそれらに適応し、納付の促進に努めていく。

### ●平川市税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例案

（平成27年12月11日から施行）

地方税法施行規則等の一部改正に伴い、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に規定する個人番号及び法人番号に係る定義規定を定め、並びにその他所要の改正を行うため。

#### 質 疑

**問** 改正内容について。

**答** 今回の改正は定義規定を付け加える改正であり、法人の名称や13桁の法人番号が記載されるものである。

### ●平川市介護保険条例の一部を改正する条例案

（平成28年1月1日から施行）

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、介護保険料の徴収猶予及び減免の申請に係る記載事項を改め、並びにその他所要の改正を行うため。

#### 質 疑

**問** 条例改正の概要は。

**答** 今回の条例改正は、申請書に記載すべき事項に番号法による個人番号を追加し、それに加え、第11条第2項第1号と第12条第3項第1号の内容が同一のものであるにも関わらず、異なった表現がされていたため、字句を整理するものである。

### ●平川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行条例案

（平成28年1月1日から施行）

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、個人番号の独自利用事務及び特定個人情報利用に係る規定を定め、並びにその他必要な事項を定めるため。

### ●平川市農業委員会委員の定数に関する条例案

（平成28年4月1日から施行）

農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、市長が任命する農業委員会委員の定数を定めるため。

### ●平川市農業委員会委員選考委員会設置条例案

（平成28年12月11日から施行）

平川市農業委員会委員候補者を選考するに当たり、農業委員会委員選考委員会を設置するため。

### ●平川市農業委員会農地利用最適化推進委員の定数に関する条例案

（平成28年4月1日から施行）

農業委員会等に関する法律の一部改正により、農地利用最適化推進委員の定数を定めるため。

質 疑

**問** 農地利用最適化推進委員の決定方法は。

**答** 農地利用最適化推進委員は農業委員会が推薦することになっており、区域を指定して募集をする形になる。

そ の 他

●黒石地区清掃施設組合の共同処理する事務の変更及び黒石地区清掃施設組合同規約の変更について

（平成28年4月1日から施行）

黒石地区清掃施設組合のし尿処理施設の設置及び維持管理に関する事務並びにし尿処理施設に係る廃棄物の収集、運搬及び処分に関する事務を廃止するため、黒石地区清掃施設組合の共同処理する事務及び規約を変更することについて、地方自治法第286条第1項及び第290条の規定により、議会の議決を必要とするため。

●弘前地区環境整備事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分について

弘前地区環境整備事務組合のし尿処理施設の設置及び管理の事務を廃止して弘前地区環境整備事務組合の共同処理する事務を変更することに伴う財産処分について、地方自治法第289条及び第290条の規定により、議会の議決を必要とするため。

●東部辺地総合整備計画の変更について

東部辺地総合整備計画を変更するにあたり、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律第3条第1項の規定により議会の議決を必要とするため。

質 疑

**問** 新設される東部地区デイサービスセンターについて。

**答** 積雪寒冷地であることを考慮し、かつ、高齢化が進む地域の特性や利用者の要望に十分応えるものとして一定の広さを持つ施設を建設するものである。

●市道路線の廃止について

道路法第10条第1項の規定に基づき、市道の路線を廃止するため。

●市道路線の認定について

道路法第8条第2項の規定に基づき、市道の路線を認定するため。

質 疑

**問** 路線延長の理由は。

**答** 宅地化されたことによる道路の延伸である。

**問** 延長部分は市が買い求めたのか。

**答** 新設道路部分、転回広場、雪置き場等については、市に寄附されたものである。

報 告

●専決第13号 損害賠償額の決定について

平川市高畑熊沢130番地付近の市道において、平川市公用車が対向車線にはみ出し、対向車両に衝突した事故による損害賠償額を定めることについて専決処分した旨を報告する。

補 正 予 算

一般会計

歳入歳出予算総額にそれぞれ3億5,188万6,000円を追加し、予算総額を191億2,358万6,000円とする。

質 疑

**問** ふるさと納税の歳入歳出の算出方法について。

**答** 歳出は見込みで計上し、歳入は実績で計上している。

**問** 人事評価制度の導入とその効果について。

**答** 法律により来年度から人事評価制度を導入しなければならなくなった。制度の導入により職員の意識を高める効果がある。

国民健康保険特別会計

歳入歳出予算総額にそれぞれ6,037万9,000円を追加し、予算総額を47億7,043万4,000円とする。

介護保険特別会計

歳入歳出予算総額にそれぞれ64万1,000円を追加し、予算総額を38億6,825万とする。

質 疑

**問** 介護予防事業費の増額と包括的支援事業・任意事業費の減額について。

**答** これまで任意事業費で実施していた事業が国の要綱改正により介護予防施策事業に変わったため、予算的に移行したものである。

**問** 本市における介護認定に要する期間について。

**答** 認定調査員が昨年度に比べ1名減となったため、認定に影響が出ている。

#### 国民健康保険診療施設事業診療所特別会計

歳入歳出予算総額にそれぞれ115万円を追加し、予算総額を3億3,442万7,000円とする。

#### 水道事業会計

収益的収入及び支出において、消火栓移転工事に伴う受託工事収益並びに受託工事費のため、それぞれ127万5,000円を追加するものである。

#### 質 疑

**問** 消火栓移設の理由は。

**答** 消火栓が設置されている土地の所有者が建物を建てる際に支障となるため、反対側の官地へ移設するものである。

## 指定管理者の指定及び 指定管理者の管理の期間

平川市公の施設の指定管理者の指定等に関する条例第3条及び第4条の規定に基づき、指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について議会の議決を求めるため。

※質疑のあったものを抜粋

#### 質 疑

**問** 指定管理施設の現状と将来について。

**答** 昨年度に各町会施設の基準を一律で改め、それに基づき来年度より改築していく。管理体制については従来通りとする。

**問** 平賀農産物集出荷貯蔵施設の概要について。

**答** 取り扱っている農作物及び26年度の取扱数量は、ミニトマト364.2トン、トマト109.5トン、露地ねぎ40.2トンである。

## 請願書・陳情書の出し方

請願書・陳情書の書き方、留意事項は次のとおりです。

- ① 請願書（陳情書）はその要旨、理由を簡単に、分かりやすく書いてください。
- ② 提出年月日、請願（陳情）者の住所、氏名（法人の場合は、その名称及び代表者氏名）を書いて必ず押印してください。
- ③ 請願の場合は、一人以上の紹介議員が必要になります。紹介する議員は、署名または記名押印をしてください。
- ④ 紹介議員が付かないときは陳情書としてください。
- ⑤ 道路等は簡単な地図・略図・図面等をつけてください。

#### 【記入例】

平成	年	月	日
平川市議会議長（氏名） 殿			
請願（陳情）者	住 所		
	氏 名		(印)
	紹介議員	氏 名	(印)
〇〇〇に関する請願（陳情）書			
【請願（陳情）の要旨】			
【理 由】			

## 平成27年（12月議会） 第4回 定例会議決一覧表

議案 番号	議 案 名	本 会 議		常任委員会等		
		結 果	備 考	付託先	結 果	備 考
<b>【人事案件】</b>						
131	平川市教育委員会委員の任命について	原案同意		付託省略		
<b>【条例案・条例改正案】</b>						
132	平川市税条例の一部を改正する条例案	原案可決		総務企画	原案可決	
133	平川市税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例案	原案可決	起立採決	総務企画	原案可決	
134	平川市介護保険条例の一部を改正する条例案	原案可決	起立採決	教育民生	原案可決	挙手採決
135	平川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行条例案	原案可決	起立採決	総務企画	原案可決	
136	平川市農業委員会委員の定数に関する条例案	原案可決	起立採決	建設経済	原案可決	
137	平川市農業委員会委員選考委員会設置条例案	原案可決	起立採決	建設経済	原案可決	
138	平川市農業委員会農地利用最適化推進委員の定数に関する条例案	原案可決	起立採決	建設経済	原案可決	
<b>【その他】</b>						
139	黒石地区清掃施設組合の共同処理する事務の変更及び黒石地区清掃施設組合規約の変更について	原案可決		教育民生	原案可決	
140	弘前地区環境整備事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分について	原案可決		教育民生	原案可決	
141	東部辺地総合整備計画の変更について	原案可決		総務企画	原案可決	
142	市道路線の廃止について	原案可決		建設経済	原案可決	
143	市道路線の認定について	原案可決		建設経済	原案可決	
<b>【補正予算案】</b>						
212	平成27年度平川市一般会計補正予算案（第4号）	原案可決		総務企画	原案可決	
213	平成27年度平川市国民健康保険特別会計補正予算案（第2号）	原案可決		教育民生	原案可決	
214	平成27年度平川市介護保険特別会計補正予算案（第3号）	原案可決		教育民生	原案可決	
215	平成27年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計補正予算案（第3号）	原案可決		教育民生	原案可決	
216	平成27年度平川市水道事業会計補正予算案（第2号）	原案可決		建設経済	原案可決	
<b>【報告】</b>						
14	専決処分した事項の報告について ・専決第13号 損害賠償額の決定について					

※議案第144号から第211号まで、委員会、本会議すべて可決

議案 番号	議 案 名	指定管理者の指定	管理の期間
<b>【指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について】</b>			
144	四ツ屋集会所	三町会町会	平成28年4月1日 ～平成33年3月31日
145	町居集会所	町居町会	
146	平川市克雪管理センター	葛川町会	
147	柏木町コミュニティセンター	柏木町町会	
148	切明コミュニティセンター	切明町会	
149	ふれあいプラザ新屋	新屋町会	
150	ふれあいプラザ沖館	沖館町会	
151	ふれあいプラザ向陽	向陽町会	
152	大光寺ふれあいプラザ	大光寺町会	
153	ふれあいプラザ本町	本町町会	

議案番号	議案名	指定管理者の指定	管理の期間
154	金屋地区多目的研修施設	金屋町会	平成28年4月1日
155	蒲田地区担い手センター	蒲田町会	
156	李平地区集落改善センター	李平町会	
157	長田地区担い手センター	長田町会	
158	新山地区担い手センター	新山町会	
159	日沼地区コミュニティ施設	日沼町会	
160	八幡崎地区農業研修センター	八幡崎町会	
161	新屋町会館	新屋町町会	
162	尾上農村婦人の家	尾上町会	
163	猿賀公民館	猿賀町会	
164	東公民館	南田中町会	
165	荒田農業研修センター	荒田町会	
166	岩館地区構造改善センター	岩館町会	
167	石郷多目的研修集会所	石郷町会	
168	一本木コミュニティセンター	一本木町会	
169	尾崎多目的研修集会所	尾崎町会	
170	沖館地区産地機能増進人材養成施設	沖館町会	
171	唐竹多目的集会所	唐竹町会	
172	向陽多目的研修集会所	向陽町会	
173	小和森多目的研修集会所	小和森町会	
174	三町会農業研修センター	三町会町会	
175	農村振興総合整備事業コミュニティ施設	杉館町会	
176	館田地区農業推進拠点施設	館田町会	
177	平賀農村婦人の家	館山・松崎町会	
178	苗生松多目的集会所	苗生松町会	
179	新館集落センター	新館町会	
180	原田農業研修センター	原田町会	
181	平田森多目的集会所	平田森町会	
182	平賀地区農村交流活性化施設	町居町会	
183	松館農業研修センター	松館町会	
184	松野地区集会所	尾崎町会	
185	向野町会集会所	向野町会	
186	井戸沢集会所	井戸沢町会	
187	大木平集会所	大木平町会	
188	小国コミュニティセンター	小国町会	
189	光城コミュニティセンター	光城町会	
190	大光寺コミュニティセンター	大光寺町会	
191	大坊コミュニティセンター	大坊町会	
192	温川地区多目的集会所	温川町会	
193	平成町コミュニティセンター	平成町町会	
194	本町コミュニティセンター	本町町会	
195	柏木東田児童公園	柏木町町会	
196	光城児童公園	光城町会	
197	小和森児童公園	小和森町会	
198	大光寺児童公園	大光寺町会	
199	新屋地区農村公園	新屋町会	
200	尾崎地区農村公園	尾崎町会	
201	原田稲元地区農村公園	原田町会	
202	町居地区農村公園	町居町会	
203	葛川地区農村公園	東部地区町会長連絡協議会	
204	久吉地区農村公園	久吉地区町会	
205	岩館地区緑化施設	岩館町会	
206	杉館地区第一緑化施設	杉館町会	
207	杉館地区第二緑化施設	杉館町会	
208	館田地区緑化施設	館田町会	
209	松崎地区緑化施設	館山・松崎町会	
210	平川市平賀農産物集出荷貯蔵施設	津軽みらい農業協同組合	
211	平川市平賀育苗施設	津軽みらい農業協同組合	

平成28年4月1日  
～平成33年3月31日

# 市政に関する一般質問より

一般質問は、議員が行政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について質問します。ここでは内容を要約して掲載しております。



平成27年第4回（12月）定例会 一般質問傍聴席

※12月定例会では25名の方が傍聴されました。

## 1. 山口 金光 議員（一括質問方式）

1. 長期総合計画と28年度予算との関係について
2. 学校統合等市立学校の将来問題について
3. 地域（まち）づくり協議会の設置について
4. 市役所建設問題について

## 2. 佐藤 保 議員（一括質問方式）

1. TPPを見据えた平川市農業の将来像について
2. 新農業委員会制度の推進委員の果たす役割について
3. 平川市の災害対策について
4. 福祉除雪について

## 3. 工藤 竹雄 議員（一括質問方式）

1. 碓ヶ関地域の現状と将来像について

## 4. 齋藤 律子 議員（一問一答方式）

1. 第2期平賀総合運動施設整備事業について
2. 青森県中南地域県民局地域農林水産部食品加工研修室の移管について
3. 子ども医療費助成事業について
4. 国民健康保険税の引き上げについて

## 5. 佐藤 雄 議員（一括質問方式）

1. 平川市総合戦略素案について
2. 人口減少と庁舎建設について

## 6. 長内 秀樹 議員（一括質問方式）

1. 国際交流について
2. 小・中学校のICT（情報通信技術）状況について

## 7. 小野 敬子 議員（一括質問方式）

1. 平川市在住、出身者の美術・工芸品の周知、保護について
2. 成年後見制度に関わる支援について

## 8. 佐藤 寛 議員（一問一答方式）

1. 異常気象による農作物被害に対する農家への支援対策について
2. 熊による農作物被害対策について

## 9. 石田 昭弘 議員（一問一答方式）

1. 農業の振興と6次産業化について
2. 観光事業の育成・支援について
3. 企業立地（誘致）促進及び地元企業への支援について
4. 少子化対策、地域で安心して生活できる基盤整備について



山口 金光 議員

### 1. 長期総合計画と28年度予算との関係について

**問** 予算計上する事業を取捨選択する基準、考え方は。

**答** 各課から要求される主要事業の優先順位は、市民の生命や財産を守ることを特に優先し、次に市民の福祉向上に不可欠なもの、事業の費用対効果、地域的に偏り・類似の事業はないか等の点を考慮し、予算計上している。

### 2. 学校統合等市立学校の将来問題について

**問** 人口減少による分校型複式学級型学校になることを見込んだ教育方針は。

**答** 11月5日に総合教育会議を開催し、平川市長期総合プランに基づき教育の振興に関する総合的施策となる平川市教育大綱を定めた。これを踏まえ、平川市の教育の充実を図っていきたい。

### 3. 地域（まち）づくり協議会の設置について

**問** 住民、行政、議会が一体となった協議会の立ち上げが望まれるが、行政がそれぞれのまちづくりを主導する考えはあるか。

**答** 住民自らが地域を維持、運営する地域自治組織の考えを導入したいとは考えているが、地域による自発的な協議会設置が必要と考える。いまは町会活動支援に重点を置き、協議会等設置に対する行政の主導は考えていないが、モデル地域をつくれないうちは検討していきたい。

### 4. 市役所建設問題について

**問** 財政が一層厳しくなると見込まれ、庁舎建設には慎重を期すべきと考える。

**答** 庁舎の耐震性の問題、バリアフリーの問題、ワンストップサービス、市民の行政サービス問題を踏まえ、平成24年から議会で議論してきた。合併特例債が使用できるうちに建設したほうがよいと判断した。



佐藤 保 議員

### 1. TPPを見据えた平川市農業の将来像について

**問** 現段階でどのように考えているか。

**答** 従来の事業に加え、後継者対策、農地の集約化及び大区画化、生産コスト低減、6次産業化の推進等の支援を行っていきたい。

### 2. 新農業委員会制度の推進委員の果たす役割について

**問** 制度の役割は。

**答** 農地利用調査、担い手への利用集積や集約化に関する調整活動、耕作放棄地の発生防止・解消に関する調整活動等々が主な活動である。

### 3. 平川市の災害対策について

**問** ① 葛川での土砂災害防災訓練の評価と次年度の計画について。

② ハザードマップ作成後のフォローについて。

**答** ① 今後の課題は情報伝達や避難誘導などがスムーズに行えるよう、実践的な訓練へとステップアップできれば、より一層の効果が期待できる。次年度の計画はまだ未定である。

② 危険区域等を改めて認識し、避難所や避難ルートを確認するために、地域に密着した形で防災訓練を実施している。

### 4. 福祉除雪について

**問** ひとり暮らしの高齢者等の町会との連携について。

**答** 平成24年度から連絡の窓口を社会福祉協議会に一本化し、連携して対応している。各町会に依頼し、敷地間口等の除排雪を行う小規模除排雪は昨年度26町会で実施し、今年度は27町会で実施予定である。





工藤 竹雄 議員



## 1. 碓ヶ関地域の現状と将来像について

- 問**
- ① 小・中一貫教育の考えについて。
  - ② 水道料金の公平な料金設定と経営改善策について。
  - ③ 空き家は所有者が管理すべきと思うが、現在、市職員が手入れをしているのはなぜか。また、空き家の自己管理を徹底すべきである。
  - ④ 課題と地域間格差について市長の見解は。

- 答**
- ① 児童数の推移をみると小・中併置も視野に置いて検討すべきと考えており、保護者、地域の方と十分協議、検討していきたい。
  - ② 久吉ダム水道企業団は大鰐町と碓ヶ関地区に上水を供給しているため、平川市だけでは料金格差の問題を解消できる状況にはない。また、収支計画の見直し、経費削減等の経営改善に取り組み、当面は経常利益を確保していく。
  - ③ 市職員が行っている草刈りや除雪等は、交通路の安全確保から、道路にはみ出た部分の刈り払いと除雪を応急的に行ったものである。空き家の所有者と連絡を取りながら適切に管理するよう進めていきたい。
  - ④ 雇用拡大につながる産業の振興と少子高齢化に対する福祉対策が重要な課題である。その対策として、碓ヶ関地域を対象とした平川市過疎地域自立促進計画を策定し、農林業の生産性向上、道の駅の整備による交流人口の増加、消防施設の整備などの事業に取り組み、一定の成果をあげることができた。地域間格差については、まちづくり懇談会の意見を参考に格差感の是正に努めてきたところである。



齋藤 律子 議員



青森県中南地域県民局地域  
農林水産部食品加工研修室

## 1. 第2期平賀総合運動施設整備事業について

- 問** 自動計測器導入について。
- 答** 多くの大会を開催・招致を期待でき、陸上競技の普及振興、市民のスポーツ意識の高揚、健康づくりにも寄与できることから、自動計測器は設置したい。

## 2. 青森県中南地域県民局地域農林水産部食品加工研修室の移管について

- 問**
- ① 今後のスケジュールと運営計画について。
  - ② フリードライ加工の機器導入について。
- 答**
- ① 2月中旬に譲渡契約を締結し平成28年3月31日付けで所有権移転、3月定例会には施設条例案を上程し、施設のオープンは5月ごろを予定している。
  - ② 農産加工品の多品目化などが期待できるため、検討していきたい。

## 3. 子ども医療費助成事業について

- 問** 満18歳までの拡充について。
- 答** 所得制限等はあるが、未就学児まで現物給付に拡大し、小・中学生の入院について助成を拡大した。さらなる拡大については慎重に検討したい。

## 4. 国民健康保険税の引き上げについて

- 問** 引き上げするべきではないと思うが、市の考えは。
- 答** 平成27年度の国保会計は総収入額が昨年度より減少する見込みであること、一人当たりの医療費が増加傾向にあることなどから、来年度はその状況を踏まえて、できるだけ被保険者の負担に配慮し決定したい。



佐藤 雄 議員

## 1. 平川市総合戦略素案について

- 問** ① 合計特殊出生率を1.28から1.45に増加させることについて。  
② 国・県より高い平川市の離婚率をストップさせるため、第1子出産にお祝い金の支給や離婚率0運動を実施してはどうか。
- 答** ① 市単独で行う総合戦略のみで1.45という目標は非常に困難であるが、2030年合計特殊出生率1.80は国・県をあげての共通の目標値であり、当市のみならず、国・県と一体となって取り組みがなされることにより、達成できる目標と捉えている。  
② 離婚率減少を施策として掲げて実施するというのは難しく、夫婦間に行政が入っていくのは非常に難しいものがあると思うが、子育て支援の事業は従来どおり継続していきたい。

## 2. 人口減少と庁舎建設について



- 問** 現在の市役所職員数は適正人員より多いと思われる。
- 答** 人口減少に比例して職員数を減らしていくのが従来の考え方であるが、人口ビジョンで掲げる数値目標は、長期的に職員総動員で各施策に取り組み、人口減少に歯止めをかけなければならない。市民生活に密着した新しい行政需要が増えていくことは確実に予想され、県からの権限移譲もこれまで同様受け入れていく方針である。よって、職員1人当たりの業務量は確実に増えていくと予想される中で、職員数を大幅に減少させていくことは困難であると考えている。



長内 秀樹 議員

## 1. 国際交流について

- 問** 台湾との交流について、近日、訪台する予定の市長に見解を伺いたい。
- 答** 温泉、グリーン・ツーリズム、まつり等イベントへの相互参加や中学生のスポーツ交流、観光専攻の大学生のインターンシップ受け入れ等について話し合い、国際交流の具体的な取り組みの可能性を探りたい。

## 2. 小・中学校のICT(情報通信技術)状況について

- 問** ① ICT教育機器の整備状況について。  
② ICT教育の現状と今後の展望について。  
③ 教職員のICTの活用と研修について。  
④ 2020年に向けた社会全体のICT化推進の対応策について。
- 答** ① 教職員へ校務用PCが整備されていないのは本市のみであり、PC1台当たりの児童数は6.9人、電子黒板は市内全小・中学校に整備済である。書画カメラの保有率は平均3.5台、校内LAN整備率は35%である。  
② 本市のICT化は国が掲げている各種の整備目標値に比べ後れを取っていることから、今後、計画的に整備を進めていきたい。その第一歩として、早急に市内全教職員へ校務用コンピュータの整備を進めていきたい。  
③ 市内教職員の中から中核を成す人材を県総合学校教育センターで研修に参加させ、資質向上に努めている。  
④ 市内モデル校指定も視野に入れ、環境整備や活用に積極的に取り組みたい。



実際に台湾で売られているふじ



小野 敬子 議員

## 1. 平川市在住、出身者の美術・工芸品の周知、保護について

**問** 市長の考えは。

**答** 当市は、洋画家葛西四雄氏や陶芸家今井理桂氏、彫刻家竹村松博氏など、日展や国際公募美術家連展などの中央展で高い評価を得た優れた芸術家が数多くいるため、市民がその作品に親しむ機会が増えるよう、市の所有する芸術作品の展示会の開催などを検討していきたい。

## 2. 成年後見制度に関わる支援について

**問** 市ではどのような支援、周知を行っているのか。また、ここ数年の当市における成年後見に関する相談件数、市長申し立てによる件数は。

**答** 成年後見制度利用に関する相談窓口を高齢介護課や福祉課に設置し、社会福祉協議会と連携しながら仕組みや手続き等の説明を行っている。周知については、セミナーの実施や在宅介護支援センターを通じてパンフレットの配布等を行っているが、十分とは言えない。今後も連携してセミナー開催を継続し、広報等の媒体を活用し周知を図っていきたい。

相談件数に関しては、平成24年度は12件、うち市長申し立てをした件数が1件、25年度は7件に対し2件、26年度は10件に対し0件、今年度は10月末現在で5件に対し1件となっている。



佐藤 寛 議員

## 1. 異常気象による農作物被害に対する農家への支援対策について

**問** 台風等の損害に対する農家への支援について。

**答** 強風被害防止の支援策については、防風網の設置、張り替えの施設整備に対する助成を実施し、合わせて果樹共済加入を促進するため共済掛金の一部助成も実施している。また、その他の品目に対する支援策についても、被害が大きい場合は災害資金の利子助成などにより農家の負担を軽減している。

## 2. 熊による農作物被害対策について

**問** 市の対策について。

**答** 鳥獣害の被害対策は非常に重要な課題であり、被害があった場合は猟友会の協力により駆除する対応を実施している。しかし、猟友会会員の高齢化、後継者不足はいずれ当市でも問題になることが想定されるため、今年度において平川市鳥獣被害防止計画を策定することとし、現在、策定作業を進めている。計画策定後は、関係機関による被害防止対策協議会を立ち上げ、課題の一つとして高齢化と担い手不足を今後どのように解消していくかを検討していく予定である。





石田 昭弘 議員

### 1. 農業の振興と6次産業化について

**問** 農業所得を上げるための農畜産物の販売力と商品開発力の強化について。

**答** 東京23区との全国連携に参画し、販売ルートの開発に努めていく。平川市6次産業化推進協議会を立ち上げ、農産物の生産から加工、流通及び販売ネットワーク構築に関わる構想策定に向けて取り組んでいる。

### 2. 観光事業の育成・支援について

**問** 歴史的建造物と景観の維持と保存について。

**答** 維持管理には難しい部分がある。生け垣は、条例により一定の基準を満たす場合に補助金を交付している。その他の対策については今後模索し、できる範囲での支援をしたい。

### 3. 企業立地(誘致)促進及び地元企業への支援について

**問** 地域特性を生かせる企業や地域と縁のある企業で、誘致の対象となる企業とその可能性について。

**答** 現在、誘致の対象となる企業はない。新規参入のみならず、既存企業の関連産業など幅広い分野に働きかけ、情報収集に取り組んでいきたい。

### 4. 少子化対策、地域で安心して生活できる基盤整備について

**問** 結婚支援について、もっとボリュームのある支援事業はできないものか。少子化対策・高齢化対策として有効であると思われる三世代同居について。

**答** 全国に専門部署を設けた自治体もあり、県や近隣市町村と連携して事業展開することも模索したい。三世代同居は、生活の違いや個人の考え方によってメリット、デメリットとどちらともとれる。市としてどのようにとらえるかは十分に検討していく。

## 青森県市議会議長会

# 議 員 表 彰

平成27年11月17日に行われた青森県市議会議長会第2回定期総会において、本会会員として会務を通し地方自治の振興に尽くされ、使命達成に寄与された功績により、田中友彦議員に感謝状が贈られました。



表彰状を伝達（平成27年12月3日）

# 青森県市議会議員研修会開催

平成27年11月20日、グランドサンピア八戸を主会場に県内10市より議員が参加し、研修会が実施されました。(株)スポーツコミュニケーションズの二宮清純氏による講演会「スポーツの力で地域活性化」があり、地方都市がプロチームを持つことにより観客が全国から集まり、宿泊、飲食、チーム応援グッズ等に経済効果が生じ地域が活性化されると話されました。終了後、主会場において議員相互による活発な意見交換会が開催されました。



# 平成27年度 平川市子ども議会

平成27年12月19日（土）、市内9校の小学生の代表が市理事者及び議員として子ども議会を体験することにより、行政や市議会の仕組みについて学習し、平川市の将来の「きらめくまちづくり」に関心を深める機会を創出することを目的に、平川市議会議場において子ども議会が開かれました。

児童の自己紹介と市長あいさつののち、児童は議員席、理事者席に分かれ、緊張しながらも大人顔負けに将来の平川市への思いへの一般質問や答弁を行っていました。



# 議員研修視察報告（埼玉県）

## ●研修視察期間

平成28年1月19日（火）～1月21日（木）

## ●研修目的と視察先

1. 議会改革について（和光市議会、富士見市議会）
2. 新庁舎建設について（北本市議会・総務課）

## ●参加議員

工藤貴弘、工藤秀一、長内秀樹、山口金光、佐藤 保、佐藤 寛、山田忠利、石田昭弘、原田 淳、桑田公憲、大川 登、小野敬子、葛西清仁、工藤竹雄、齋藤政子、齋藤律子、田中友彦、佐藤 雄、齋藤英仁（計19名）

## ●各市の概要

### ◇和光市

人 口：80,891人（平成28年1月1日現在）

議員定数：18人

議会の役割と機能を果たす人数を協議のうえ決定。

実施した議会改革

議会基本条例策定、一問一答方式導入、  
質問回数削減の撤廃、常任委員会の傍聴、  
手話通訳の実施 等



### ◇富士見市

人 口：110,045人（平成28年1月1日現在）

議員定数：21人

実施した議会改革

タブレット端末の導入、反問権の実施、  
議会基本条例に基づいた情報公開、  
財政状況を鑑みての行政視察の廃止 等

### ◇北本市

人 口：68,154人（平成28年1月1日現在）

議員定数：20人

新庁舎建設について

総工費 36億3,782万円

庁舎建設基金条例（昭和59年）制定、  
市民説明会の実施（全16回）、防災拠点の強化、  
周辺住宅地に配慮した低層庁舎 等



## \* 議会の動き \*

### 平成27年

12月

- 3日～11日 平成27年第4回定例会
  - 9日 黒石記者クラブ「筆供養」に議長出席（黒石市）
  - 20日 平賀ライオンズクラブチャリティークリスマスパーティーに議長出席
  - 31日 「平川ねぶたまつり“冬の陣”」開会式に議長出席

### 平成28年

- 1月 6日 平賀建築組合通常総会懇親会に議長出席
- 8日 平川市尾上職人組合通常総会に議長出席
- ◇日 平川市消防団本部新年会に副議長出席
- 10日 平成27年度平川市成人式に議長ほか出席
- 13日 平川市保育連絡協議会新年懇話会に議長出席
- 14日 市政施行10周年記念式典及び祝賀会に全議員出席
- 19日～21日 埼玉県和光市、北本市、富士見市に議員視察研修
- 28日 平川市観光協会新年会に議長出席
- 2月 5日 第29回平賀はしご酒まつり開会式に議長出席

- 7日 第10回雪と子どもたちに議長出席
- 8日 平成27年度第2回津軽南市町村議会連絡協議会定期総会並びに津軽南市町村選出県議会議員との懇談会に正副議長、事務局長出席（黒石市）
- 9日 議会運営委員会
- 11日 平成27年度平川市表彰条例及び平川市教育委員会表彰規則による表彰式に議長ほか出席
- 16日 平成27年度青森県市議会議長会第3回定期総会に議長、事務局長出席（青森市）
- ◇日 議会広報特別委員会
- 19日 平成28年第1回青森県後期高齢者医療広域連合議会定例会に議長出席（青森市）
- 21日 平成27年度平川市青少年健全育成市民大会に議長ほか出席
- 22日 議会運営委員会
- ◇日 平成28年第1回臨時会
- 26日 議会運営委員会
- ◇日 議会広報特別委員会

## 議会を傍聴しませんか？



定例会は**3月、6月、9月、12月**に行われます。

傍聴を希望の方は、本会議当日に本庁舎5階の議会事務局へお越しいただき、氏名等を受付簿に記入してから議場へお入りください。

**インターネットでも議会の模様を生中継！**

平川市ホームページに動画へのリンクを貼っております。視聴方法や定例会の日程等も掲載しておりますので、ぜひご確認ください。



詳しくは議会事務局まで 電話 (0172) 44-1111 (内線1511)

### ◆◆ 編集室から ◆◆

最近私が思っていること、それは人間の暗記力である。携帯電話の普及である。

つい最近、私は携帯電話を壊してしまったのである。ほとんどの電話番号がわからなくなってしまったのである。昔は親戚友人の電話番号はだいたい頭の中に暗記していたものだ。ある人に、あなたの電話番号はと聞いたら、自分の電話番号もわからな

いのである。

そしてあと一つは漢字である。パソコンで変換できる、読むこともできる。ところがいざ書くと書けないのである。

議会だよりを見ている市民の皆様はどうだろうか。気をつけよう、携帯電話とパソコンに。

(田中 友彦)